

令和元年 9 月 2 日(月)AM10:00、会員制24時間フィットネスジム「モンテローザフィットネス 24 桜木町」グランドオープン！

「白木屋」「魚民」「笑笑」などを展開する株式会社モンテローザ（本社：東京都武蔵野市、代表取締役 大神輝博）は、令和元年 9 月 2 日（月）に、横浜市（JR 桜木町駅前）で、24 時間年中無休の会員制フィットネスジム「モンテローザフィットネス 24 桜木町」をグランドオープンします。なお、新規オープンを記念して、オープン当日までの期間にご入会の会員を対象に、月々の会費が永年割引（※2）になるなど特典いっぱいの「オープン記念キャンペーン」を実施しています。



< 桜木町の店内 受付カウンター付近 >

1. 「モンテローザフィットネス 24 桜木町」の概要

- 名称：モンテローザフィットネス 24 桜木町
- 所在地：横浜市中区花咲町 1-36 モンテローザ桜木町ビル 7 階
- TEL：045-264-3188
- 営業時間：年中無休（ただし、スタッフによる受付時間は AM10：00～PM10：00）
- アクセス：JR 桜木町駅より徒歩 3 分。野毛ちかみち南 2 番出口を出てすぐ。
- 設備施設：高品質マシン、ストレッチエリア、男女別更衣室、シャワールーム、鍵付きロッカー（月額制の専用貸しロッカーも完備）、水素水サーバー、プロテインサーバー、体組成計、Wi-Fi 完備、ほか。
- URL：https://monteroza-fitness.jp/#cb_2

2. 「モンテローザフィットネス 24 桜木町」の月会費等（※1）

（表中の金額はすべて税別です。）

◇ 入会金・事務手数料	0 円
◇ セキュリティカード発行手数料	初回のみ 3,000 円
◇ 月会費	6,900 円
◆ 貸しロッカー利用料金	月額 1,000 円
◆ 水素水サーバー利用料金	月額 1,000 円
◆ プロテインサーバー利用料金	月額 1,200 円/10 杯
	月額 2,400 円/24 杯
	月額 3,000 円/飲み放題

（※1）詳細な利用条件は、モンテローザフィットネス 24 利用規約をご参照ください。
表中の（◆）は、ご希望の場合の料金です。

3. 「オープン記念キャンペーン」の概要

- 対 象：令和元年 9 月 2 日（月）までに入会手続きを完了された方
- 特 典：① 9 月分月会費無料
（※2） ② 9 月分・10 月分の水素水サーバー利用料金無料
③ 水素水専用ペットボトル 1 本（550ml）プレゼント
④ 同ビルの(株)モンテローザグループ店舗で利用できる 500 円分
食事券プレゼント
⑤ ドリンク 1 本・マフラータオル 1 枚プレゼント
⑥ 先着 200 名様に限り、月会費永年 5,980 円（税別）

（※2）上記①～⑤の特典は 9 月 2 日までに入会手続きが完了した会員全員が対象ですが、
上記⑥の特典については、先着 200 名様限定です。なお、上記特典の付与は入会
月から 6 ヶ月を超えて会員資格を継続していただくことが条件です。

4. フィットネス事業参入の背景

日本人の健康意識は、年齢や性別を問わず年々高まりを見せています。これまで 外食事業を展開してきた当社は、「食」との長年の関わり、これまでの経験を生かし、「食」と「健康」をテーマに、さまざまな事業とのシナジーを検証してまいりました。今回、当社は「フィットネスジム」と「食事」、そして「コミュニティ」を融合させるなど、既存のフィットネスジムにない新たな付加価値を創造し、お客様にご提案してまいりたいと考えています。

「モンテローザフィットネス 24 桜木町」は、24 時間年中無休の会員制フィットネスジムで、有酸素運動マシン・ウエイトマシン・フリーウエイトコーナー・ストレッチスペースなどの設備が充実しています。フィットネスジムを利用した経験の無い初心者の方から、自分にあったトレーニングをそれぞれのステージに合わせて行うことができます。また、月会費 6,900 円（税別）と低料金でありながら、高品質マシン（テクノジム社製）が利用できることや、「セキュリティカード」による会員管理と「警備システム」の導入により、当ジムのスタッフが不在になる深夜の時間帯でもセキュリティは万全で、安心してご利用いただけます。

さらに、水素水サーバー（有料）や、24 時間フィットネスジムにはめずらしいプロテインサーバー（有料）を設置するなど、ご利用者様の身体作りを全面的にサポートします。



<有酸素運動マシン>



<ウエイトマシン>



<フリーウエイトコーナー>



<ストレッチエリア>

「モンテローザフィットネス 24 桜木町」で、気持ちも身体もリフレッシュしながら、目的にあった自分のスタイルで、「自分史上最高の自分」を目指していただきたいと考えています。